

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2014年11月11日（火）18：30～20：14

場 所：虎ノ門 第一オカモトヤビル4階会議室

出席者：理 事：飯島、大谷、尾山、北村、黒岩、児玉、才藤、庄野、新通、関根、外山、
丹羽、平松、星野、三輪

監 事：今北、藤田

事務局：長谷川

欠席者：理 事：伊藤、小川、羽柴（以上、アイウエオ順）

尾山会長が議長となり、議事録作成人に庄野理事、同署名人に才藤理事を指名して、下記議案につき審議した。

1. リビエラ新春親善レース共同主催の件

- ◇ 新通理事より 10月に逗子マリーナカップを予定していたところ台風により中止となり、同レースの協賛金とエントリーフィを使って年度内にイベントを行いたいと考えていたところ、逗子・葉山・シーボニアをパーティ会場として利用した、リビエラファミリー・新春親善レースを1月4日にリビエラマリンクラブ・外洋湘南・当クラブの共同主催にて企画しており、共同主催につきお諮りするものであることが説明された。才藤理事より2008年から今年まで湘南レースと合同で開催してきた経緯があり、逗子マリーナヨットクラブも含めてレースが賑やかに行われるのは良い事と考え、他の役員承諾を得ずに見切り発車してしまったのは反省点であることが補足説明された。
- ◇ 平松理事より「リビエラファミリー」の名称がリビエラ社のファミリー企業が行うレースのように見えるのは好ましくない点と、もし問題が発生した際にリビエラマリンクラブで責任が取れるのかとの指摘があり、①主催者をリビエラリゾート社に変更すること、②「リビエラ」と「ファミリー」の間に1文字分スペースを入れること、③湘南レースと同時開催とすること、④当クラブの支出はゼロであること、を条件として、承認された。
- ◇ 例年シーボニアF主幹で新春親善レースを行ってきたが、2015年1月は、MOSC、外洋湘南、リビエラリゾートの共同主催として同レースを行うこととなった。今回新春親善レースの主幹を外れたのでシーボニアフリートとして秋の初島ムーンライトレース復活を検討することが報告された。

2. リビエラ湘南レース共同主催の件

- ◇ 関根理事よりかねてより懸案であった湘南レースを当クラブ共同主催による公式レースとしたい旨の説明があり、2015年1月より共同主催とすることが承認された。

3. 各委員会構成委員人選の件

- ◇ 前回より継続審議となっている各委員会の構成委員指名につき、尾山会長より総務委員会は前回報告同様、（以下、敬称略。）尾山・丹羽・大谷・才藤・庄野・関根・今北・

長谷川にて組織することが報告された。

◇飯島理事よりレース委員会は、才藤理事のほかは検討中であることが報告された。

◇三輪理事よりルール委員会は、北村・周東・五十嵐の4名にて構成することが報告された。

◇星野理事より安全委員会は、検討中である旨が報告された。

◇計測委員会は、本日欠席の伊藤理事・外山・関根の3名であることが報告された。

◇児玉理事より通信委員会は、塘内・中森の2名を内定している旨が報告された。

◇事務局より委員会の構成メンバーは、各フリートのバランスをよく吟味するよう指摘がなされた。

4. 加盟団体間の会員移動手続の件

◇事務局より別紙回覧され、外洋三崎会員が当クラブへ移籍したいとの申し入れがあるところ、関東四団体間にて共通ルールを作りたい意向があるが、入会金は徴収せず、翌年度更新時から会費を移動先団体に納める方法（データのみの移行）で進めたい旨の説明がなされ、承認された。

5. 関東外洋四団体忘年会並びに永年表彰の件

◇事務局より今年も12月3日19時より渋谷にて関東外洋四団体忘年会を開催予定であり、小網代カップ表彰式並びに当クラブより永年表彰対象者として栗林定友氏・村本信夫氏・今北文夫氏の三氏を表彰予定であるところ、多数の参加をお願いしたい旨が報告された。

6. 事務局業務委託基本契約書の件

◇議長よりここ数年監査意見として提言のあった、事務局が基本契約を締結していない件につき、ドラフトを提示して意見募集をしたが、反対意見がなければ提示したドラフトを基に契約書を締結したい意向が示され、業務内容を列挙の上、審議してみることで承認された。

7. 会則修正案の件

◇議長よりメールにて理事定数をはじめとする会則修正案のたたき台を提示したところ、色々なご意見を頂戴した。作業の中で、会則第40条に会則の変更については正会員の3分の2以上の議決を必要とする定めとなっているが、会則の起案者や当時の様子を知る人に話を聞いたところ、本条の立法主旨は総会主席者の3分の2が正解であり妥当ではないかとの意見を聴取したので、当理事会に於いてはこれを共通理解とすることとしたい旨が報告された。引き続き意見聴取を進め、総務委員会にてドラフトを作成し、年度内に改正案を確定し総会に諮ることとした。

8. 全国外洋加盟団体長会議の件

◇議長より10月4日に福岡で開催された全国外洋加盟団体長会議についての報告書は先般メールで配布したところであるが、本会議の開催主旨は外洋団体の議論をJSAFで行う場と時間が確保できないことから、年2回これを実施していき、会員増強や会費の統一・個々のテーマについてはワーキンググループに諮問して、外洋に特化した議論をしてい

く場とする旨が報告され、今回は長崎県にて開催されることが披露された。

9. 上半期会計報告の件

◇事務局より9月末時点の収支報告書が提出され、概ね予定通りの進捗であることが報告された。

10. ジャパンカップワーキンググループの件

◇平松理事よりジャパンカップワーキンググループではジャパンカップ（以下、「JC」という。）だけでなくオープンレースについても問題意識を持っており、湘南レースも対象の一つであったところ、当理事会に於いて共同主催が承認されたことは望ましい形であるが、一方で、JCが関東開催の年は関東からしか参加艇がなく、多くの地域から集まっていない現状を鑑みて、8月・10月・11月とワーキンググループの集まりを持ち、参加候補艇へアンケートを実施予定であること、1月には公示を出す必要があるところ、来年は外洋東海が開催する順番であることが報告された。

11. 入退会承認の件

◇丹羽理事より入会希望者の披露があり、全員承認された。

12. その他

① 鵜が島倉庫について

議長より鵜が島倉庫に保管する物品の棚卸しと中身の確認をしたいので、レース委員会と外洋三崎共同にて実施して欲しい旨が要請され、同倉庫の利用規程の検討も依頼された。

② みさきヨット無線局について

議長よりみさきヨット無線局の外洋湘南・外洋三崎との費用負担方法や展望を児玉理事にて次回用意して欲しい旨が要請された。

③ 外洋レースチェックリストについて

事務局より羽柴理事からの依頼で外洋レースチェックリストが配布された。

以上で本日の議事を全て終了し、20時14分閉会した。

以 上

2014年 12月 1日

議事録署名人 **才 藤 滋**